

ENTERTAINMENT



『Paradise Kiss 1』

矢沢 あい／著

祥伝社 2000年

主人公の早坂紫(ゆかり)は有名進学校へ通う受験生。日々の受験勉強にうんざりしていたある日、学園祭でモデルをやってもらえないかと街で声をかけられる。声をかけてきたのは矢澤芸術学院の服飾科へ通う「パラダイス・キス」(通称「パラキス」)のメンバー。ファッションに関心のない紫は、「あんた達の遊びにつき合ってる程ヒマじゃない!」と彼らを突き放してしまうが、次第に「パラキス」のメンバーたちのひたむきな姿勢に心惹かれていく。

ファッション雑誌「Zipper」で連載されていた、「NANA」の矢沢あい手がける人気漫画。北川景子主演で映画化もされた。(「Zipper」は2018年に休刊となったが、今年の春に復刊し、中央図書館にて所蔵している。)

ファッション雑誌で連載されていただけあり、物語や扉絵に描かれている登場人物の衣装や小物はとても華やか。最初に紫がファッションに無関心だったように、自分とは別世界だと思っている世界へみなさんも飛び込んでみてはいかがでしょうか。きっと、そこでは新しい発見があるはずです。

「ユースフルエイジ (Youthful Age)」は YA世代に送る、本・漫画・映画・音楽などのおすすめ情報を掲載した渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

YA(ワイエー)とは…
Young Adult(ヤングアダルト)の略で、おおむね12歳から18歳までの人たちのことをさします。

ユースフルエイジ
2022年6月・7月号【No. 8】

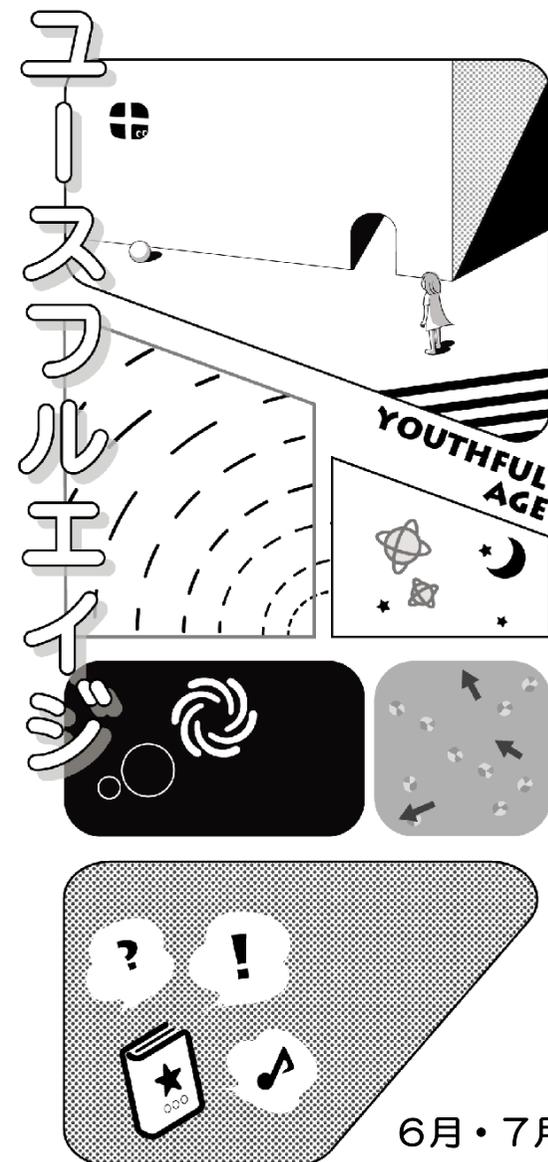
発行／編集 渋谷区立図書館
株式会社図書館流通センター

発行日 2022年6月

渋谷区立中央図書館

電話 3403-2591

住所 渋谷区神宮前1-4-1



6月・7月号
【No. 8】

SHIBUYA CITY LIBRARIES

Pick
Up!

Recommended books

あした、何着る？

中高生のためのファッション入門



『ファッション・ライフのはじめ方』
高村 是州／著
岩波書店 2010年

何を着たらいいのかわからない、いつも着るもので悩んでしまう…。今のあなたがそうだとしたら、それは“自分がどう見られたいか”を考えている証拠です。たとえば、3年前に比べて自分の服装を気にするようになっていたら、それは3年前よりも“他の人が考えていること”を気にするようになったということ。自分のことだけでなく他の人のことを考える、想像する…。それはとても素晴らしい、“素敵なお大人への第一歩”なのだ、この本の著者は言っています。

“人は外見じゃない”と言って、服装にこだわるのを毛嫌いな人がいますが、服は無言の自己紹介。人はまず、見た目で判断されるのです。ファッションを大事にしないということは、自分自身を大事にしないということなのです。

本書には、自分に似合う服を見つけるための具体的なヒントがたくさん書かれています。基本的には男子向けの本ですが、ファッションで大事なことは男子も女子も一緒ですので、女子にも読んでほしい一冊です。



『366日絵画でめぐるファッション史』
海野 弘／解説・監修
パイインターナショナル 2021年

16世紀ルネサンスから1920年代のモダン・エイジまで、366点の絵画に描かれた華やかなファッションの歴史を、1日1作品ずつたどる。時代別アイテム図鑑も収録する。絵画の見方や知識も身に付く。



『大正ガールズコレクション』
石川 桂子／編著
河出書房新社 2022年

大正時代をすごした「女学生」「令嬢」「モダンガール」にスポットを当て、当時の雑誌、新聞、書籍から写真や記事、エッセイなどを厳選し、彼女たちの生態を紹介する。森伸之の描き下ろし「大正ガールズ」も収録する。

New!



『正解の服、教えてもらいました。』
Dcollection／監修
ナツメ社 2019年

本書で言う“正解の服”とは、“周りの人に好印象を与える服”のこと。おしゃべりはしたいけど、正直何をどうしたらいいのか全然分からない…。そんな人たちに、対話形式でファッションの基本からレクチャーしてくれます。“顔が大きい”とか“背が低い”とか、いろんなコンプレックスをカバーするアイテムや着こなし方も掲載。



『リアル・ファッション』
ソフィア・ベネット／著 西本 かおる／訳
小学館 2012年

ファッションが大・大・大好きなノニーが出会ったウガンダ難民の少女クロウは、とんでもなく奇抜で、でもめっちゃくちゃかわいい服を一人で作ってしまうデザイナーの卵だった。やがてクロウのデザインは爆発的な人気となり、開催されたファッションショーでまさかの奇跡が…。登場人物がみんなキラキラ、生き生きして、ファッションが持っているパワーを教えてくれるイギリス生まれのYAノベル。

COLUMN

ファッションの街

今では「Kawaii」の聖地として世界中に存在を知られている原宿。現在のように賑わうようになったきっかけは、関東大震災の復興と、戦後に米軍兵舎が代々木公園の敷地内にできたことで、そこに住む人たちに向けたお店が集まったことでした。

80年代には竹の子族と呼ばれる若者の影響で竹下通りが発展。90年代以降には海外の有名ファッションブランドが表参道に次々とオープンし、裏原宿と呼ばれるエリアに新しいファッショントレンドのお店が並び始めることで、ファッションの街として発展していきます。

現在では色々なジャンルが集まっているファッションの街で、自分の好きなものを探してみたいかがでしようか。